

「C4 労働投入量指数（調査産業計）」の季節調整替えについて

令和 7(2025)年 3 月 26 日

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

景気動向指数では、令和 7(2025)年 1 月分改訂（3 月 26 日公表）において、「C4 労働投入量指数（調査産業計）」の算出に用いる「雇用者数（非農林業）」の季節調整替え¹を行った。

なお、季節指数の算出には、米国センサス局法 X-12-ARIMA を利用している。

今回適用したスペックファイルは以下のとおりである。

■ C4 労働投入量指数（調査産業計）の算出に用いる雇用者数（非農林業）

（データ期間：1975 年 1 月～2024 年 12 月）

	今回	前回
データ加工	対数変換なし	対数変換なし
曜日調整・異常値等 (注 1)(注 2)	異常値(LS1990.Sep, LS2020.Apr)	異常値(LS1990.Sep, LS2020.Apr)
ARIMA モデル(注 1)	(3 1 1) (1 0 1)	(3 1 1) (1 0 1)
X11 パートの設定 (注 3)	① モデルのタイプ:加法型 ② 移動平均項数: seasonalma=MSR(3×5) ③ ヘンダーソン移動平均項数:13 項 ④ 特異項の管理限界: 下限 1.5σ 上限 2.5σ	① モデルのタイプ:加法型 ② 移動平均項数: seasonalma=MSR(3×5) ③ ヘンダーソン移動平均項数:13 項 ④ 特異項の管理限界: 下限 1.5σ 上限 2.5σ
その他(注 4)	予測期間は 12 か月	予測期間は 12 か月

(注) 1. 曜日調整・うるう年調整（以下「調整」という。）の適否判断と ARIMA モデルの選定については、次のとおり行っている。

まず、調整の有無の組み合わせごとに、X-12-ARIMA のモデル選定機能 (automdl コマンド) を用いて ARIMA モデルの階差及び次数を選定し採用候補を作成する。次に、候補の中から、調整の統計的な妥当性を検証の上、AIC が一番小さい候補を採用する。なお、調整には以下のパターンが設定されている。

- ① 標準曜日調整・・・毎月の月曜日から日曜日までの各曜日の数が月によって違うことにより原数値に与えている影響を、毎月の各曜日の数を説明変数として取り除くもの。
 - ② 2 曜日型曜日調整・・・毎月の月曜日から日曜日までの各曜日の数が月によって違うことにより原数値に与えている影響を、毎月の平日（月曜日～金曜日）の数の合計と休日（土曜日と日曜日）の数の合計の 2 つを説明変数として取り除くもの。
 - ③ 日本型曜日調整 1・・・日本の国民の祝日を考慮したもの。
 - ④ 日本型曜日調整 2・・・日本の国民の祝日及びお盆休みや年末年始などの慣例的な休日を考慮したもの。
 - ⑤ うるう年調整・・・うるう年による 2 月の日数の変動を考慮したもの。
2. 異常値検出は、X-12-ARIMA の outlier コマンドを用いている。
 3. X11 パートの設定項目のうち②及び③は X11 コマンドによる選定結果を用いている。
 4. 予測期間は MAPR が最小となるものを選択。

¹ 独自に季節調整を行っている 3 系列について、「L10 投資環境指数（製造業）」の算出に用いる「総資本額（製造業）」は毎四半期、「C4 労働投入量指数（調査産業計）」の算出に用いる「雇用者数（非農林業）」及び「Lg5 法人税収入」の 2 系列は年に 1 回、季節調整替えを行っている（「Lg5 法人税収入」の令和 7(2025)年の季節調整替えは、1 月分速報時点に実施）。

「C4 労働投入量指数（調査産業計）」の動きを新旧で比較すると、次頁の図表のとおりとなった。

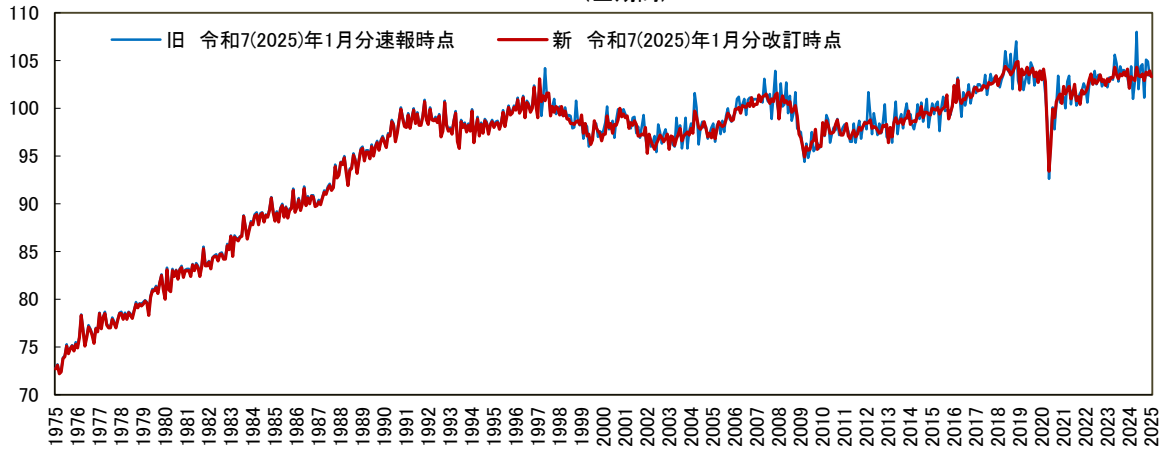
なお、「毎月勤労統計調査」（厚生労働省）令和 7(2025)年 1 月分結果速報公表時に実施された季節調整替え等に伴い、「C4 労働投入量指数（調査産業計）」の算出に用いる「総実労働時間指数(調査産業計、事業所規模 30 人以上)」季節調整値についても遡及改訂されている。

(以上)

図表 C4 労働投入量指数（調査産業計）の新旧比較

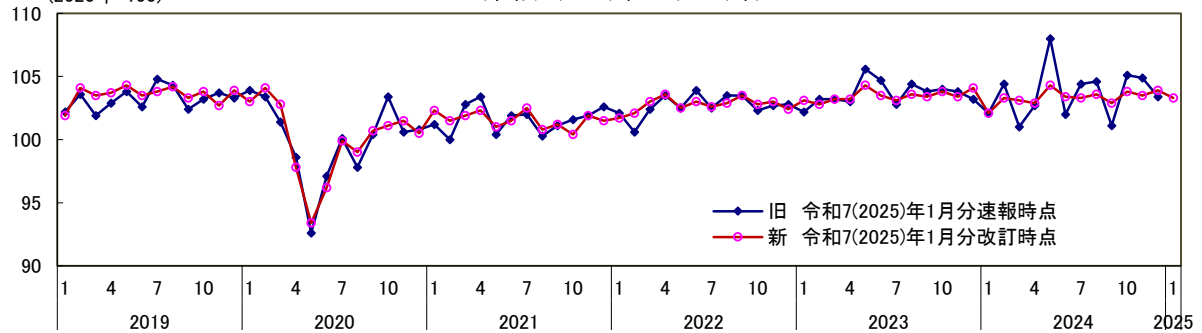
(2020年=100)

(全期間)

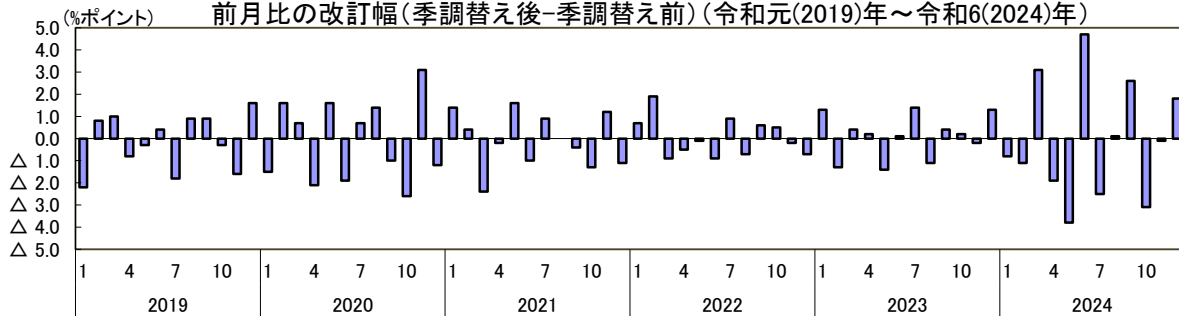


(2020年=100)

(令和元(2019)年～7(2025)年)



前月比の改訂幅(季調替え後-季調替え前)(令和元(2019)年～令和6(2024)年)



	令和7(2025)年 1月分速報時点 (季調替え前)A		令和7(2025)年 1月分改訂時点 (季調替え後)B		前月比の改訂幅 (B-A)
	季調値	前月比(%)	季調値	前月比(%)	(%)ポイント
R5(2023)/1	102.2	△ 0.6	103.1	0.7	1.3
2	103.2	1.0	102.8	△ 0.3	△ 1.3
3	103.2	0.0	103.2	0.4	0.4
4	103.0	△ 0.2	103.2	0.0	0.2
5	105.6	2.5	104.3	1.1	△ 1.4
6	104.7	△ 0.9	103.5	△ 0.8	0.1
7	102.8	△ 1.8	103.1	△ 0.4	1.4
8	104.4	1.6	103.6	0.5	△ 1.1
9	103.8	△ 0.6	103.4	△ 0.2	0.4
10	104.0	0.2	103.8	0.4	0.2
11	103.8	△ 0.2	103.4	△ 0.4	△ 0.2
12	103.2	△ 0.6	104.1	0.7	1.3
R6(2024)/1	102.1	△ 1.1	102.1	△ 1.9	△ 0.8
2	104.4	2.3	103.3	1.2	△ 1.1
3	101.0	△ 3.3	103.1	△ 0.2	3.1
4	102.7	1.7	102.9	△ 0.2	△ 1.9
5	108.0	5.2	104.3	1.4	△ 3.8
6	102.0	△ 5.6	103.4	△ 0.9	4.7
7	104.4	2.4	103.3	△ 0.1	△ 2.5
8	104.6	0.2	103.6	0.3	0.1
9	101.1	△ 3.3	102.9	△ 0.7	2.6
10	105.1	4.0	103.8	0.9	△ 3.1
11	104.9	△ 0.2	103.5	△ 0.3	△ 0.1
12	103.4	△ 1.4	103.9	0.4	1.8
R7(2025)/1			103.3	△ 0.6	